

2024年度 法人共通 卒後2年目研修【集合&オンライン】

# 「チーム連携におけるメンバーシップ」

～周囲と調和し働くための基本的知識について学ぼう～



受講者の皆さまが、自分が所属する組織の一員として責任をもち、組織の向かう方向を理解して、自部署の目標達成に向けメンバーシップを発揮して取り組むことができるよう、法人全体で応援します。

卒後2年目の職員が、チームの一員としての自覚をもってメンバーシップを発揮できること、多職種連携のあるべき姿から自身の課題を見出すことを目的に開催しました。

■開催日時：①11月7日（木）14:30～16:30 ②11月29日（金）14:30～16:30

■受講者数：192名

助産師3、看護師93、診療放射線技師2、臨床検査技師9、薬剤師4、管理栄養士4、理学療法士32  
作業療法士13、社会福祉士4、介護福祉士6、臨床工学技士4、救急救命士1、言語聴覚士4、栄養士1  
准看護師1、診療情報管理士2、事務職8、看護補助者1



## 研修内容



1. 組織のあり方と目標設定について
2. チームについて
3. メンバーシップの基礎理解
4. 多職種連携・協働における職種役割とメンバーシップの発揮
5. コミュニケーションについて



## 講師のご紹介

医療法人協和会  
川西市立総合医療センター  
患者支援センター  
副センター長  
渡邊 成吾氏



## 受講者の感想（アンケートより）

- ・自分が従事する病院の多職種の方々との連携や協働することの大切さがわかりました。
- ・職種によって他職種に求めていることは異なり、自職種には何が求められているか知ることができた。
- ・多数の意見が最良とは限らないので、物事を様々な面からとらえる必要があると思った。
- ・自分の意見も発信し、相手の意見も尊重した上で、同じ目的に向けて多職種と医療や介護を提供していきたい。
- ・分からない事は自己学習し、先輩に教えてもらい、何度も繰り返して自分の知識や技術を高め、チームの一員として自分が行える事を増やしていきたい。
- ・手の空いている人が積極的に雑用を引受けることも立派なメンバーシップ。
- ・日々の業務で自分の姿は患者様にどう映っているか意識することが必要と感じた。

